

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro大船		
○保護者評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族への相談支援を行うことで、利用者の情報共有の場を設ける機会を多数確保できている。	送迎後に自宅へ訪問し、相談援助を行っている。	HUGを最大限に活用し、保護者に周知する。
2	保護者も参加できるイベントを実施することで、開かれた事業所を目指している	月1回実施できるように企画を行っている。	保護者も参加できるイベントを実施することで、開かれた事業所を目指している
3	必要事項の説明を定期的に行っている。	契約時やモニタリング等、児発管と協力しながら懸念点をあらかじめ保護者に伝えるようにしている。	定期的に伝達事項の見直しをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員数	人材育成の仕方の見直し	育成担当職員を任命したり、育成マニュアルを作成したりして、新人が困らないような配慮を行う。
2	品質管理	清掃が行き届いていない箇所がある。 備品が多く、整理整頓がされていない	日頃から品質管理を行い、いつだれが来ても整理整頓がされている拠点にする。
3	プログラムの充実	利用者の状況に合わせた、個別のプログラムの導入	現在は全体向けのプログラムなので、今後個別に行うプログラムを検討し、より良い利用者への支援を行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	toiro大船		公表日 2025年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	7	パーテーションを設置したりして、宿題スペースを確立している。	室内だけでは、子どもが十分に動けるスペースが不足していると感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	9		・配慮を要する児童に対応するのであれば2対1は必要（常時）
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	8	宿題に集中して取り組むことが出来るように、パーテーションの導入をしている。	教室までに階段が多数ある為、都度声掛けを行ったり、歩行困難な利用児童に対しては補助をしたりする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	8	定期的に室内配置を変更している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	7	パニック時の対応に別室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	6		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	ミーティングが定期的で開催されている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	6	社内研修が定期的実施されており、参加率も良好。	研修は開催されているが、人手不足もあり研修全体に参加するのが難しい。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	5	曜日等で飽きないようにイベントを変更している。	個別のプログラムの実施が難しい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	・契約時や定期モニタリング時に必須項目として行っている。 ・丁寧に保護者の話を聞いている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	4	社内ツールを使い、情報共有を積極的に行っている。	質的には未だ不足している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	6		共有できていない部分が一部ある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	ケア記録に記載をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインを参照に、個々のアセスメントをもとに作成できている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	適宜相談できている	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	月の予定は流動的に作られている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	イベント無いでそれぞれの配慮事項を確認し実行している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日の昼礼時に共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	気づいたことがあれば、都度確認することが出来ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	法令にのっとって実施できている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	法令にのっとって実施できている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	おやつを自分で選べるように、ワゴンを導入している。 イベント時には、様々な選択肢を用意して、自己決定の場面を設けるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9	SV研修が拠点で開催され、児童対応の方法やカンファレンスが行われている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	会議等で実施できている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者参加イベントを、事業所として月1回以上行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時の説明やモニタリング時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリングの時期に合わせて必ず行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	契約時やモニタリング時に行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	運動会やクリスマスイベント等、家族参加イベントを実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ブログの作成を毎月行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	常時の管理や契約時に必ず説明を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	相談支援専門員や行政への共有と併せて実施している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		地域向けのイベント等は実施できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	家族から請求があれば開示するようにしている。今後、保護者を招いての説明会を実施予定。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	計画書を作成した上で、避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	利用開始時にアセスメントをかねて実施できている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	利用開始時にアセスメントをかねて実施できている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	強化週間を定め、社員一同取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	会社の研修等で対応できていると思う。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	同意書を必須としたうえで、家族に説明を行っている。		